

川島町水道事業 令和2年度上半期 業務状況について

令和2年度上半期(令和2年4月1日～9月30日)の、川島町水道事業の業務状況をお知らせします。

1 業務量 (前年度同期との対比)

		9月30日現在 (a)	前年度同期 (b)	(a)(b)対比	
				増減(c=a-b)	比較(c/b)
給水人口		19,739 人	20,041 人	△ 302 人	△ 1.51 %
給水件数		8,098 件	8,087 件	11 件	0.14 %
総配水量		1,376,015 m ³	1,357,935 m ³	18,080 m ³	1.33 %
有収水量		1,332,979 m ³	1,325,946 m ³	7,033 m ³	0.53 %
有収率		96.87 %	97.64 %	△ 0.77 ポイント	△ 0.79 %
受水量 内訳	県水	865,025 m ³	884,448 m ³	△ 19,423 m ³	△ 2.20 %
	吉見町水	5,083 m ³	5,061 m ³	22 m ³	0.43 %

業務量用語の解説

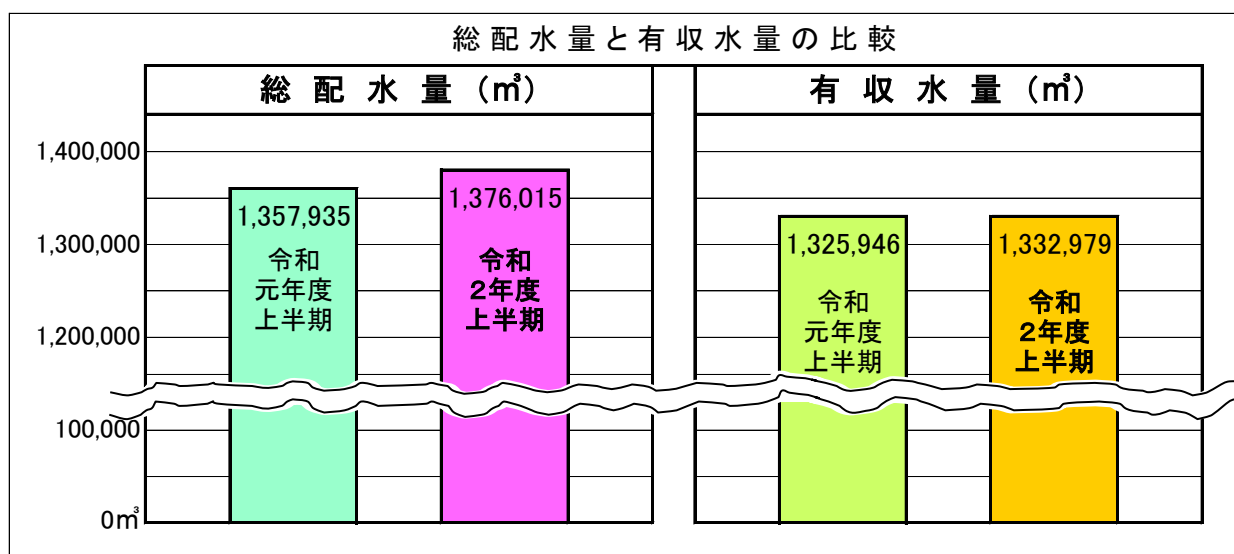
「総配水量」 町内の浄水場から水を送り出した量です。

「有収水量」 町内の各家庭や事業所などで使用した水の集計です。

「有収率」 配水量と有収水量を比較した割合です。

この値が低いと、配水管などで漏水が発生し水が無駄になっていることが考えられます。また火災での消火栓使用や、水の濁り防止のための放水によっても変動します。

「受水量」 水道に供給する水の一部について、埼玉県営吉見浄水場から県水を購入し受水しています。また一部の地域については、吉見町水道事業から水を購入しています。



業務量について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛により、総配水量、有収水量ともに増加しました。有収率について、水の濁り防止のための放水により前年度と比較し低下しておりますが、漏水調査を毎年度実施し、発見した漏水を修理してきたことなどにより、引き続き高い水準を維持しています。今後も有収率が低下しないよう努力します。

2 当期中における経理の状況

(1) 資金の収支状況

前年度繰越金	557,675,928 円
入金	382,957,929 円
出金	505,454,483 円

当期末現在高
(現金預金残高) 435,179,374 円

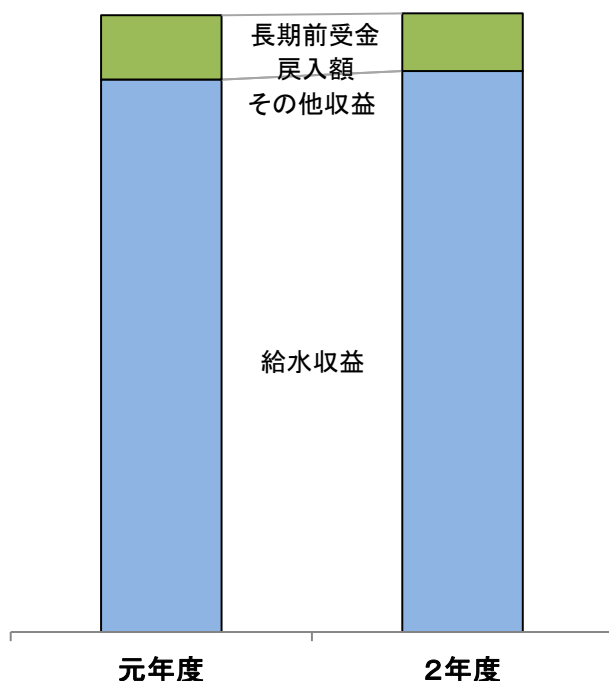
※ 当期末現在高は前年度繰越金より
122,496,554 円 減

(2) 予算と事業収支状況

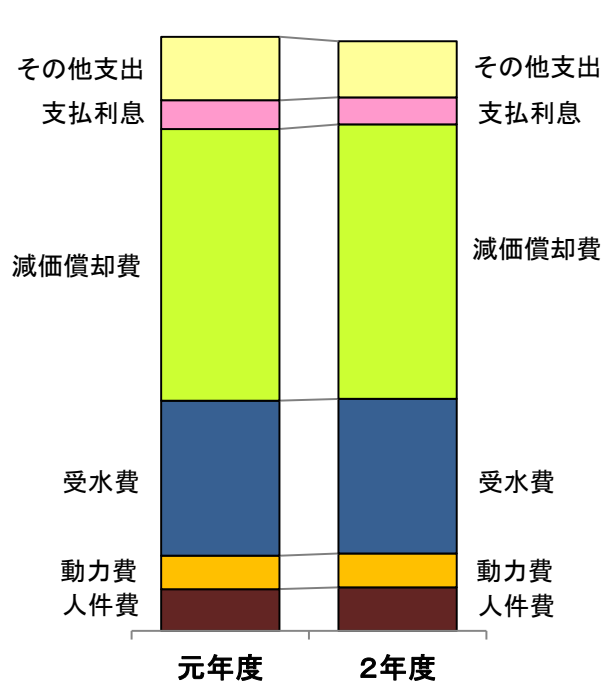
○ 収益的収支 浄水場設備の運転や維持管理、配水管の修繕、検針などに使う予算です。

		予算額	実績 (a)	予算 執行率	前年度同期 実績 (b)	前年度同期 からの増減	消費税込額 増減率 $\frac{(a)-(b)}{(b)}$
		(千円)	(千円)	(%)	(千円)	(千円)	(%)
収 入	給水収益	395,400	167,716	42.42	165,158	2,558	1.55
	その他収益	12,577	697	5.54	822	△ 125	△ 15.21
	消費税還付	0	0	0.00	0	0	0.00
	長期前受金戻入額(当期予定分)	34,481	17,241	50.00	19,231	△ 1,990	△ 10.35
	合計	442,458	185,654	41.96	185,211	443	0.24
支 出	人件費	32,223	13,973	43.36	13,422	551	4.11
	動力費(電気料)	28,727	10,889	37.91	10,722	167	1.56
	県水等受水費	124,277	49,651	39.95	49,820	△ 169	△ 0.34
	減価償却費(当期予定分)	176,426	88,213	50.00	87,280	933	1.07
	支払利息	17,371	8,713	50.16	9,202	△ 489	△ 5.31
	その他支出	82,631	17,985	21.77	20,437	△ 2,452	△ 12.00
	合計	461,655	189,424	41.03	190,883	△ 1,459	△ 0.76

収益的収入
令和2年度上半期と令和元年度同期 比較



収益的支出
令和2年度上半期と令和元年度同期 比較



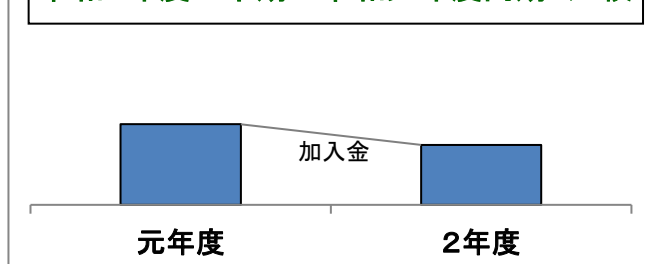
○ 資本的収支

配水管や、浄水場施設などの新設・更新費用、企業債の償還に使用する予算です。

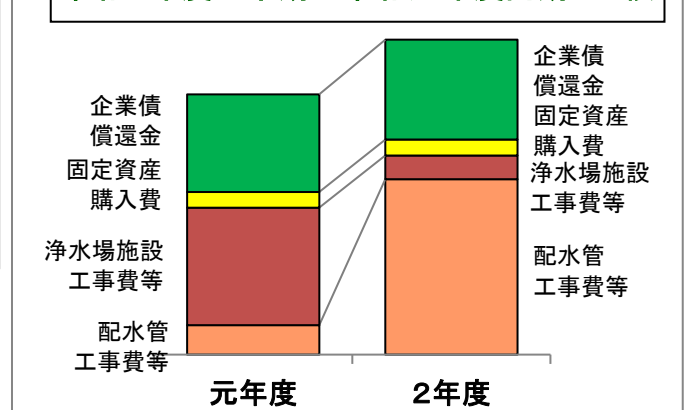
消費税込額

		予算額 (千円)	実績(a) (千円)	予算 執行率 (%)	前年度同期 実績(b) (千円)	前年度同期 からの増減 (千円)	増減率 $\frac{(a)-(b)}{(b)}$ (%)
収 入	負担金	0	0	0.00	0	0	0.00
	加入金	13,622	3,262	23.95	4,385	△ 1,123	△ 25.61
	企業債	142,500	0	0.00	0	0	0.00
	国庫補助金	21,000	0	0.00	0	0	0.00
	その他	2	0	0.00	0	0	0.00
	合計	177,124	3,262	1.84	4,385	△ 1,123	△ 25.61
支 出	配水管工事費等	150,496	45,299	30.10	7,584	37,715	497.30
	浄水場施設工事費等	125,546	6,110	4.87	30,360	△ 24,250	△ 79.87
	固定資産購入費	9,857	4,091	41.50	4,042	49	1.21
	企業債償還金	51,877	25,790	49.71	25,209	581	2.30
	合計	337,776	81,290	24.07	67,195	14,095	20.98

資本的収入
令和2年度上半期と令和元年度同期 比較



資本的支出
令和2年度上半期と令和元年度同期 比較



収益的収支・資本的収支 用語の解説

「長期前受金戻入額」

過去に施設の建設や固定資産を取得などの財源となった国庫補助金や負担金を、減価償却の割合に基づき収益的収入に計するもので、当年度に現金が入ったわけではありません。

「減価償却費」

施設の使用による資産的価値の減少を、耐用年数に基づく割合で毎年度の収益的支出に計上するもので、外部へ支払うものではありません。

「加入金」

住宅などの建築で水道を新設するときなどに水道事業に納めていただく額を、「加入金」といいます。設置する水道メーターの口径ごとに金額が異なります。

「企業債」「企業債償還金」

施設の新設や更新工事の財源とするための国などからの借金を、「企業債」といいます。「企業債償還金」は、各年度の返済額のうち、元金分です。利息は収益的支出で支払います。

収入について	支出について
有収水量の増加により、収益的収入における給水収益が前年度同期より増加しています。	工事の増加により、資本的支出における各種工事費が前年度同期より増加しています。

前年度同期と比較した増減については、1年を通じた場合解消されるものもあります。一方、人口減少や施設の老朽化については、年を追うごとに水道事業経営への影響を増していきます。事業を行う中でコスト削減をすすめる、計画的な施設更新を行うなど、長期的視野に立った健全な水道事業の運営に努めます。